

- ・調査対象期間 : 2022年4~6月期 実績  
 2022年7~9月期 見通し
- ・回答数 : 358社
- ・発行日 : 2022年 8月 10日
- ・調査要領(URL) : <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

今期業況・来期見通し

全業種において業況、売上、採算いずれもマイナス幅を縮小

来期は、業況は業種で差、仕入の更なる高騰により価格転嫁が追いつかず苦慮する声増加

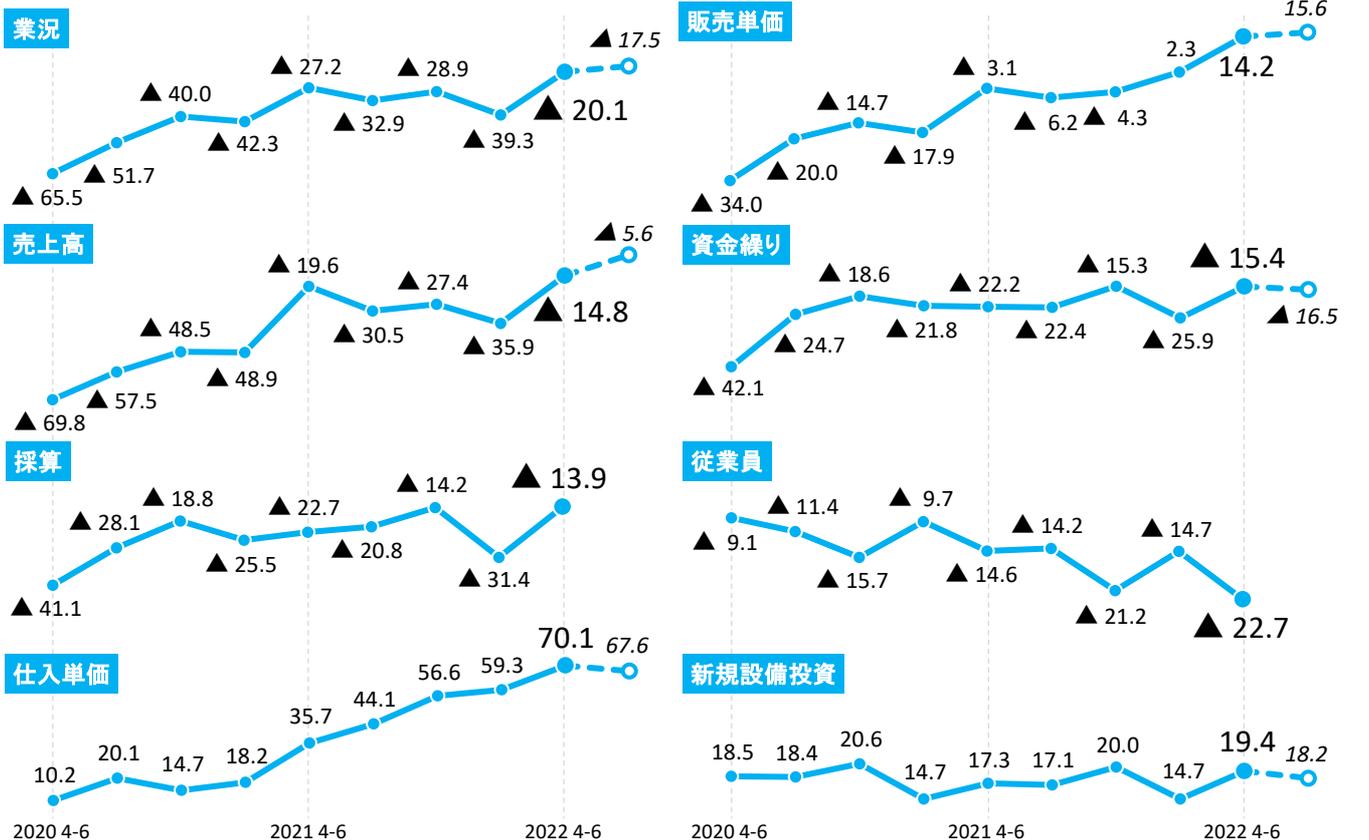
■主なコメント

- ・コロナ禍の景気感に変化なく、状況の厳しさは変わらない。  
 特に仕入原料単価の上昇が今後も予想されるため、販売単価の見直しが必要 (食料品製造業)
- ・原油価格の高止まりに加え、急激な円安進行もあり、仕入先からの値上げ要請が続いている。商品によっては2次、3次値上げの話も出ており、収益確保に向け販売先への値上げ交渉に追われている状況 (包装資材等卸売業)
- ・昨年よりも売上が増加傾向だが、原材料、光熱費等の価格上昇が大きく、現状では未だ価格転嫁が進んでいない状況  
 早期に商品価格の見直しを実施したいが、時期と上げ幅が課題となっている。 (食料品小売業)

■全産業D・I

	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2021 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 65.5	▲ 51.7	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 27.2	▲ 32.9	▲ 28.9	▲ 39.3	▲ 20.1	▲ 17.5
売上高	▲ 69.8	▲ 57.5	▲ 48.5	▲ 48.9	▲ 19.6	▲ 30.5	▲ 27.4	▲ 35.9	▲ 14.8	▲ 5.6
採算	▲ 41.1	▲ 28.1	▲ 18.8	▲ 25.5	▲ 22.7	▲ 20.8	▲ 14.2	▲ 31.4	▲ 13.9	-
仕入単価	10.2	20.1	14.7	18.2	35.7	44.1	56.6	59.3	70.1	67.6
販売単価	▲ 34.0	▲ 20.0	▲ 14.7	▲ 17.9	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 4.3	2.3	14.2	15.6
資金繰り	▲ 42.1	▲ 24.7	▲ 18.6	▲ 21.8	▲ 22.2	▲ 22.4	▲ 15.3	▲ 25.9	▲ 15.4	▲ 16.5
従業員	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 9.7	▲ 14.6	▲ 14.2	▲ 21.2	▲ 14.7	▲ 22.7	-
新規設備投資	18.5	18.4	20.6	14.7	17.3	17.1	20.0	14.7	19.4	18.2

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。  
 ※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。

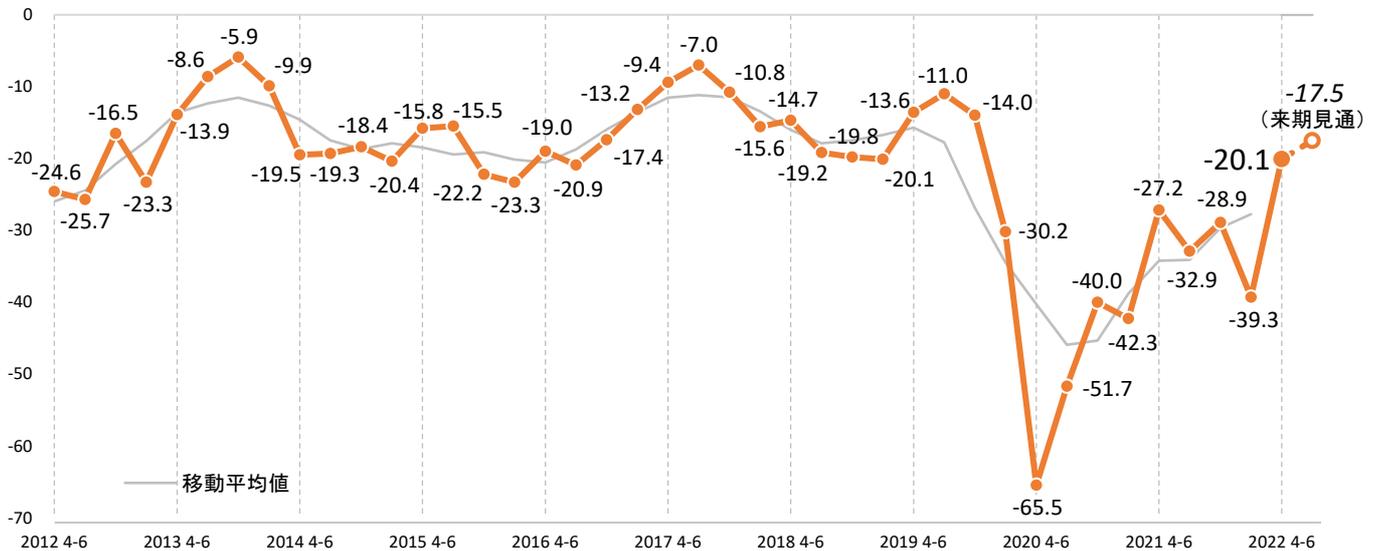


# I. 業況

## 1. 今期

前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I ≪好転－悪化≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 20.1	13.5%	52.9%	33.6%	▲ 39.3
製造	▲ 36.2	13.8%	36.2%	50.0%	▲ 47.3
建設	▲ 15.7	10.0%	64.3%	25.7%	▲ 27.7
卸売	▲ 19.6	12.5%	55.4%	32.1%	▲ 35.1
小売	▲ 17.0	13.8%	55.4%	30.8%	▲ 47.7
サービス	▲ 12.3	17.3%	53.1%	29.6%	▲ 38.6

■好転 □不変 ■悪化

前期比 (2022年1~3月期の水準と比較した今期の業況)

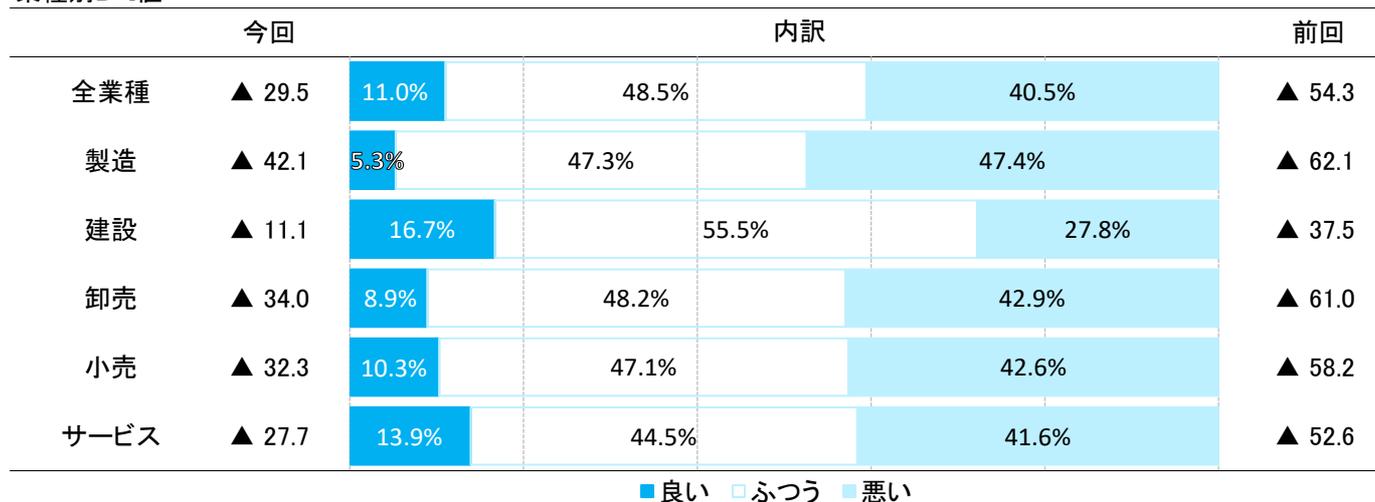
業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 12.1	17.7%	52.5%	29.8%	▲ 44.8
製造	▲ 21.1	21.2%	36.5%	42.3%	▲ 48.0
建設	▲ 13.5	10.4%	65.7%	23.9%	▲ 31.0
卸売	▲ 12.3	19.3%	49.1%	31.6%	▲ 50.0
小売	▲ 6.2	17.2%	59.4%	23.4%	▲ 52.4
サービス	▲ 7.6	20.4%	51.6%	28.0%	▲ 42.8

■好転 □不変 ■悪化

## 今期の水準 (2022年4~6月期の水準)

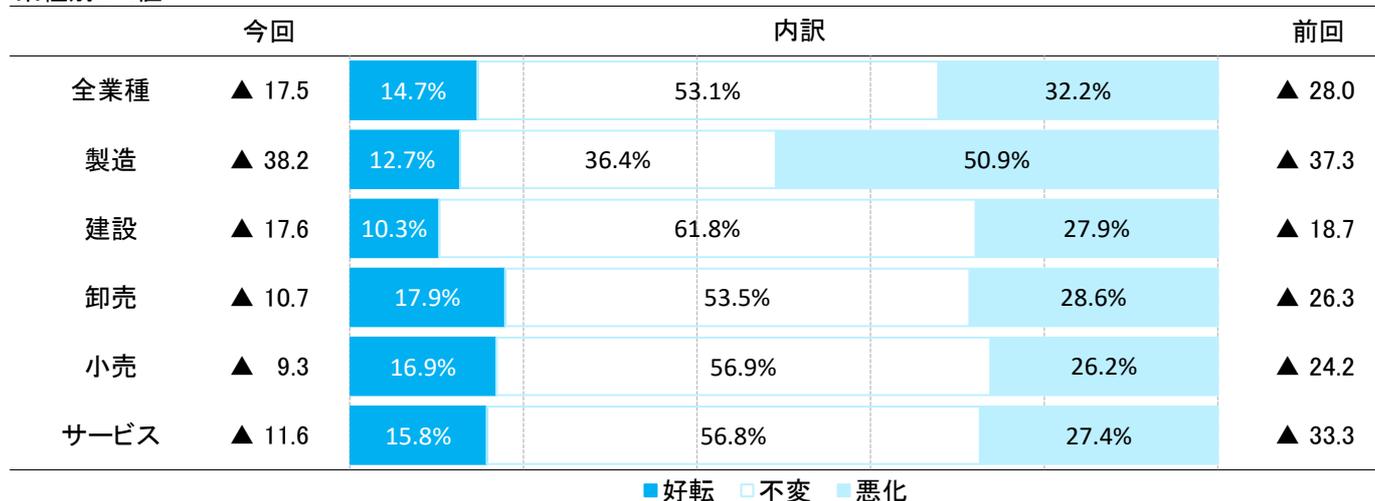
### 業種別D・I値



## 2. 来期

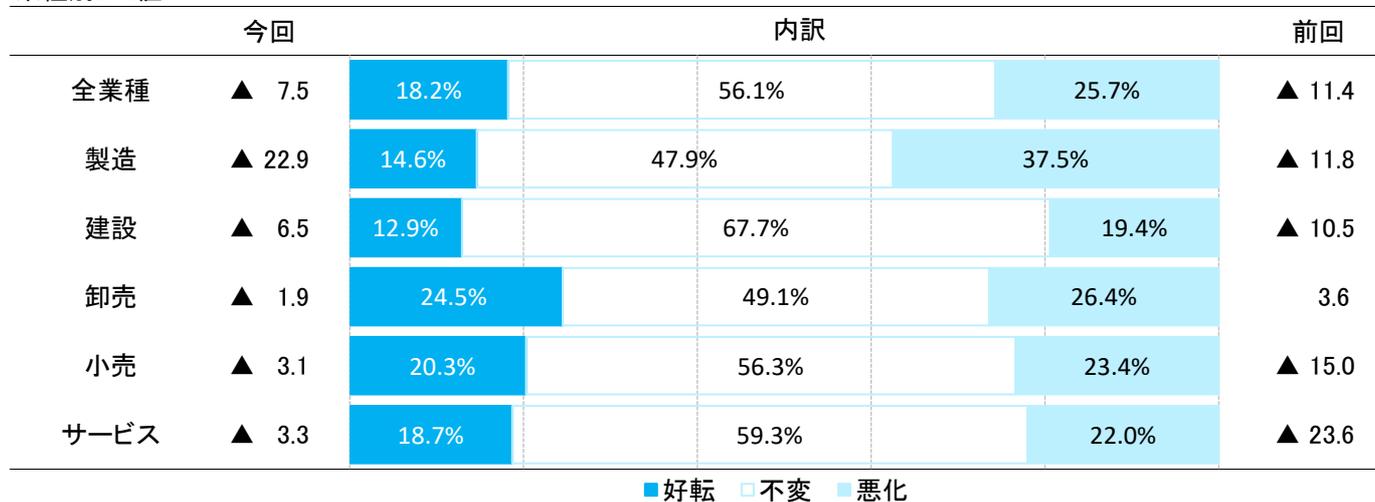
### 前年同期比 (2021年7~9月期の水準と比較した来期の見通し)

### 業種別D・I値



### 今期比 (2022年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

### 業種別D・I値

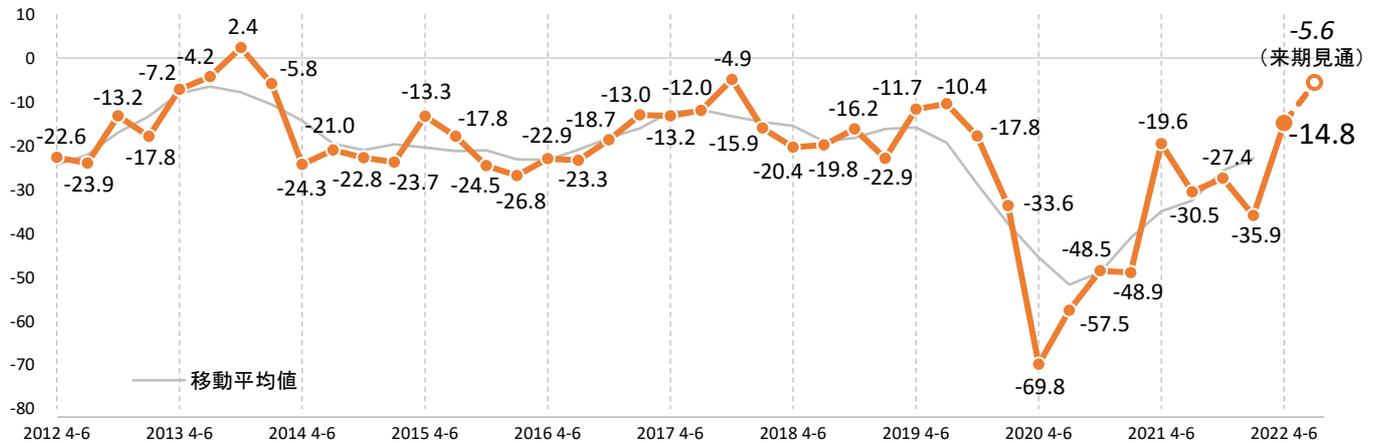


## Ⅱ. 売上高

### 1. 今期

前年同期比 (2021年4～6月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 14.8	24.4%	36.4%	39.2%	▲ 35.9
製造	▲ 22.4	22.4%	32.8%	44.8%	▲ 35.6
建設	▲ 17.1	18.6%	45.7%	35.7%	▲ 26.1
卸売	▲ 7.0	29.8%	33.4%	36.8%	▲ 22.1
小売	▲ 14.5	29.0%	27.5%	43.5%	▲ 54.4
サービス	▲ 13.0	22.0%	43.0%	35.0%	▲ 41.2

前期比 (2022年1～3月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 3.2	29.9%	37.0%	33.1%	▲ 55.1
製造	▲ 14.3	28.6%	28.5%	42.9%	▲ 52.5
建設	▲ 16.0	18.8%	46.4%	34.8%	▲ 39.4
卸売	16.1	41.1%	33.9%	25.0%	▲ 63.8
小売	7.4	35.3%	36.8%	27.9%	▲ 67.7
サービス	▲ 9.0	25.7%	39.6%	34.7%	▲ 52.0

### 2. 来期

前年同期比 (2021年7～9月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

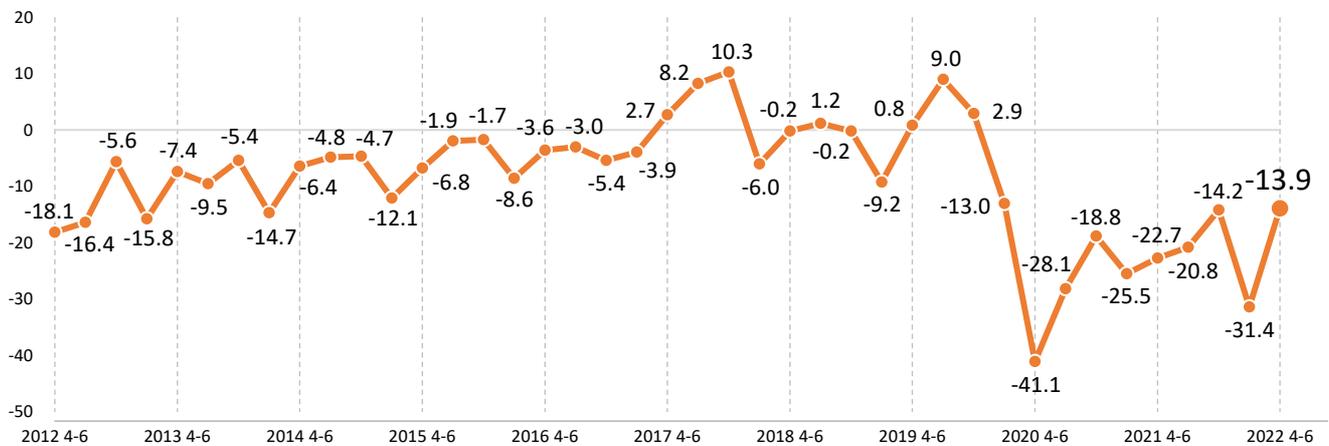
業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 5.6	24.0%	46.4%	29.6%	▲ 22.8
製造	▲ 18.2	20.0%	41.8%	38.2%	▲ 22.8
建設	▲ 20.3	13.0%	53.7%	33.3%	▲ 23.3
卸売	7.1	33.9%	39.3%	26.8%	▲ 12.0
小売	1.4	27.5%	46.4%	26.1%	▲ 17.7
サービス	2.0	25.5%	51.0%	23.5%	▲ 38.1

### Ⅲ. 採算(経常利益)

#### 1. 今期

今期の水準 (2022年4~6月期の水準)

全業種平均D・I <<黒字-赤字>>



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 13.9	17.3%	51.5%	31.2%	▲ 31.4
製造	▲ 25.0	10.7%	53.6%	35.7%	▲ 46.6
建設	2.8	26.4%	50.0%	23.6%	▲ 6.9
卸売	▲ 17.8	14.3%	53.6%	32.1%	▲ 40.6
小売	▲ 14.7	16.2%	52.9%	30.9%	▲ 32.9
サービス	▲ 14.9	18.8%	47.5%	33.7%	▲ 30.2

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 27.1	11.0%	50.9%	38.1%	▲ 46.5
製造	▲ 38.6	12.3%	36.8%	50.9%	▲ 44.8
建設	▲ 30.6	8.3%	52.8%	38.9%	▲ 42.5
卸売	▲ 19.3	10.5%	59.7%	29.8%	▲ 45.8
小売	▲ 29.4	8.8%	53.0%	38.2%	▲ 47.7
サービス	▲ 17.8	14.9%	52.4%	32.7%	▲ 51.6

■好転 □不変 ■悪化

#### 2. 来期

来期の水準 (2022年7~9月期の水準)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 26.2	9.4%	55.0%	35.6%	▲ 32.4
製造	▲ 46.5	8.9%	35.7%	55.4%	▲ 30.4
建設	▲ 26.8	7.0%	59.2%	33.8%	▲ 36.1
卸売	▲ 21.4	10.7%	57.2%	32.1%	▲ 32.7
小売	▲ 20.5	7.4%	64.7%	27.9%	▲ 24.3
サービス	▲ 16.0	13.0%	58.0%	29.0%	▲ 38.5

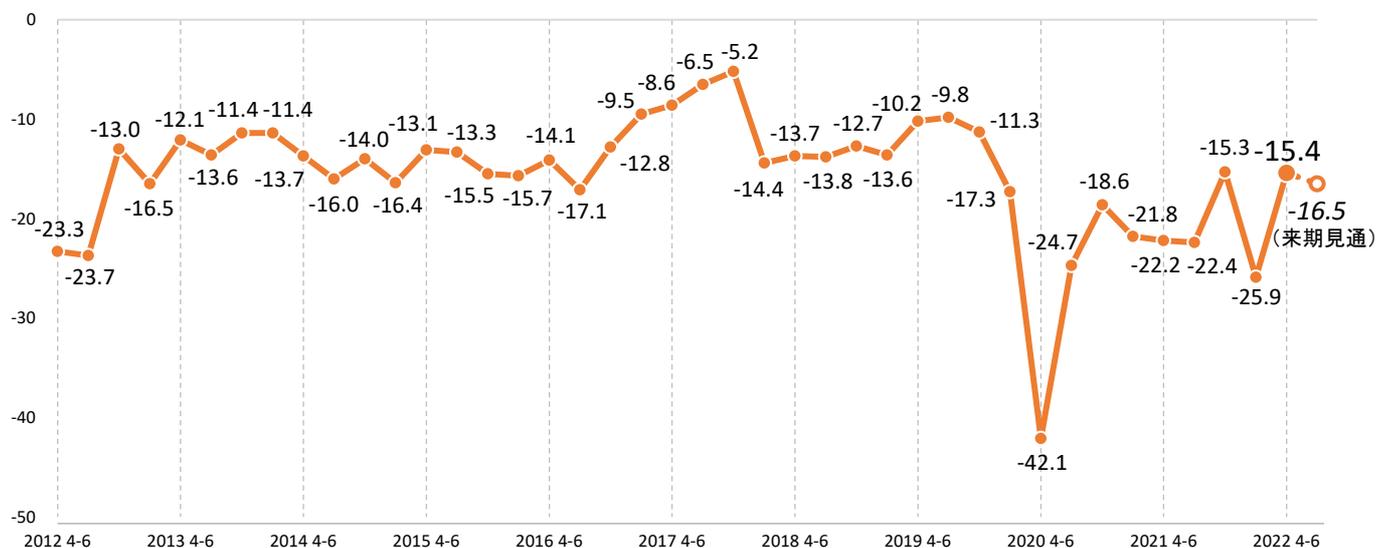
■好転 □不変 ■悪化

## IV. 資金繰り

### 1. 今期

前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した今期の資金繰り)

全業種平均D・I <<好転ー悪化>>



業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 15.4	3.7%	77.2%	19.1%	▲ 25.9
製造	▲ 29.8	1.8%	66.6%	31.6%	▲ 36.3
建設	▲ 4.3	7.0%	81.7%	11.3%	▲ 11.1
卸売	▲ 8.8	0.0%	91.2%	8.8%	▲ 24.2
小売	▲ 22.0	1.5%	75.0%	23.5%	▲ 32.4
サービス	▲ 12.2	8.2%	71.4%	20.4%	▲ 25.3

■好転 □不変 ■悪化

### 2. 来期

前年同期比 (2021年7~9月期の水準と比較した来期の見通し)

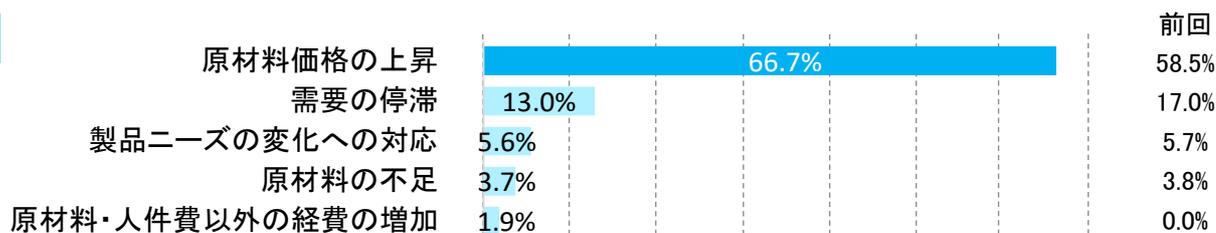
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 16.5	4.0%	75.5%	20.5%	▲ 21.4
製造	▲ 25.0	1.8%	71.4%	26.8%	▲ 24.5
建設	▲ 12.8	4.3%	78.6%	17.1%	▲ 11.2
卸売	▲ 12.5	1.8%	83.9%	14.3%	▲ 21.4
小売	▲ 17.7	2.9%	76.5%	20.6%	▲ 25.4
サービス	▲ 14.3	9.2%	67.3%	23.5%	▲ 24.7

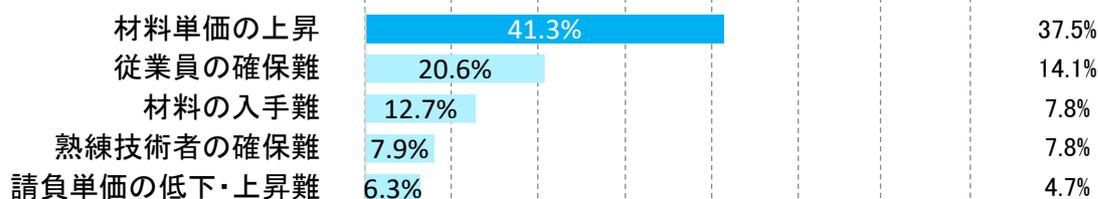
■好転 □不変 ■悪化

## V. 経営上の問題点(上位5項目)

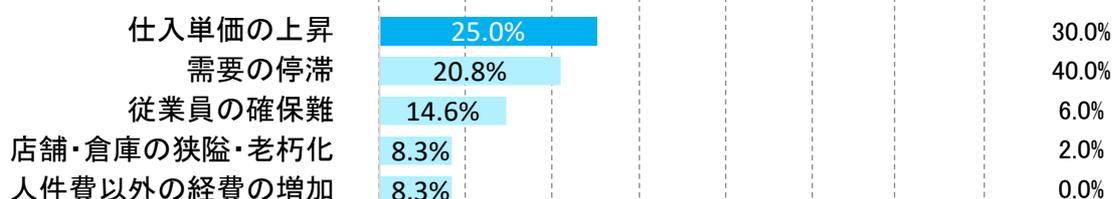
### 製造業



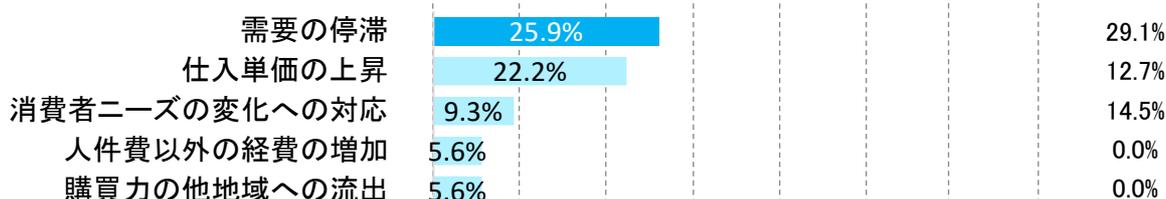
### 建設業



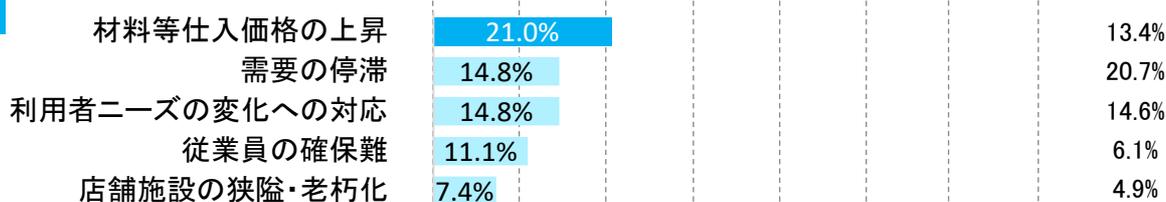
### 卸売業



### 小売業



### サービス業



## VI. 従業員の動向

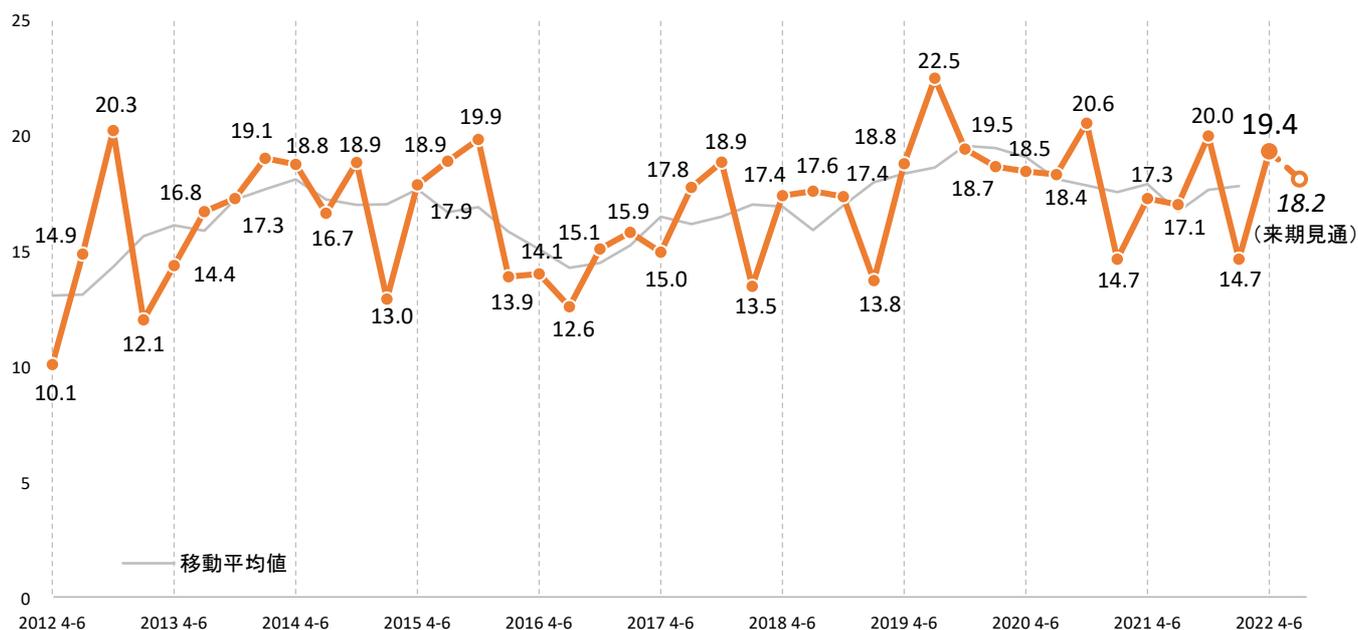
### 業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		過剰	不足	
全業種	▲ 22.7	3.7%	26.4%	▲ 14.7
製造	▲ 10.9	9.1%	20.0%	▲ 3.5
建設	▲ 42.3	0.0%	42.3%	▲ 39.5
卸売	▲ 25.5	3.6%	29.1%	▲ 23.2
小売	▲ 9.2	4.6%	13.8%	▲ 3.1
サービス	▲ 25.9	1.1%	27.0%	▲ 11.5

■ 過剰 □ 適性 ■ 不足

## VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



### 1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	19.4	19.0	25.7	16.4	15.9	19.8
土地	9.8	0.0	16.7	11.1	0.0	21.1
工場建物、建物、店舗	15.9	9.1	16.7	22.2	0.0	31.6
生産・販売・サービス設備、建設機械	31.8	54.5	5.6	11.1	45.5	42.1
車両運搬具	24.5	18.2	22.2	44.4	27.3	10.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	7.2	0.0	5.6	0.0	9.1	21.1
OA機器	35.8	36.4	50.0	44.4	27.3	21.1
厚生施設	3.2	0.0	5.6	0.0	0.0	10.5
その他	16.3	9.1	22.2	11.1	18.2	21.1
実施していない	80.6	81.0	74.3	83.6	84.1	80.2

### 2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	18.2	19.6	20.6	17.9	19.7	13.0
土地	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0	16.7
工場建物、建物、店舗	16.9	0.0	28.6	0.0	30.8	25.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	41.3	72.7	14.3	40.0	46.2	33.3
車両運搬具	38.9	36.4	50.0	20.0	46.2	41.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	11.2	9.1	28.6	10.0	0.0	8.3
OA機器	25.2	18.2	21.4	30.0	23.1	33.3
厚生施設	1.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
その他	6.9	9.1	7.1	10.0	0.0	8.3
実施しない	81.8	80.4	79.4	82.1	80.3	87.0

# 製造業

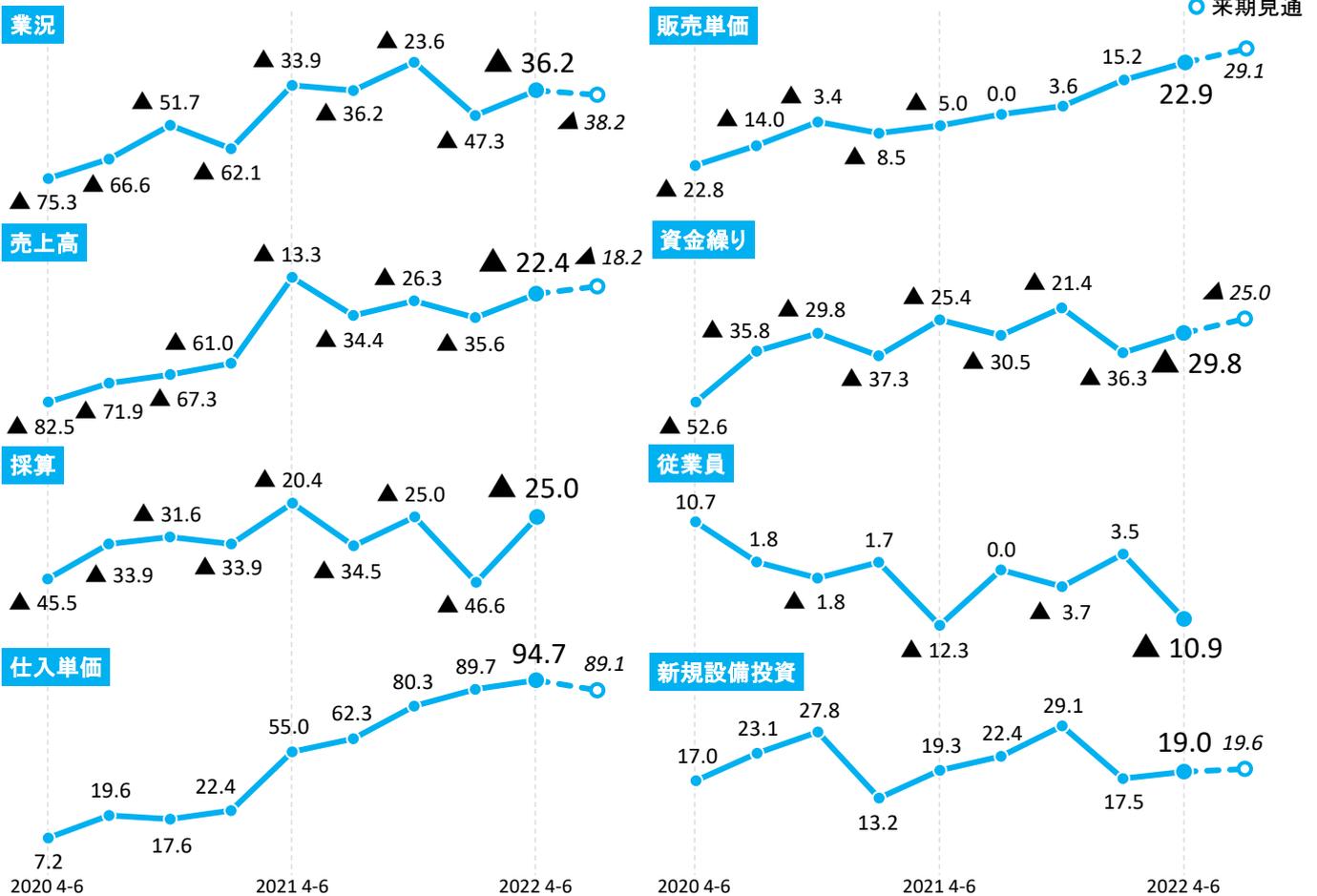
## ■主なコメント

- ・コロナ禍の景気感は変化なく、状況の厳しさは変わらない。  
特に仕入原料単価の上昇が今後も予想されるため、販売単価の見直しが必要 (食料品製造業)
- ・原材料価格の高騰は続いており、売価の値上げを進めているが、全ての転嫁は難しく、採算は厳しい。  
一部工場の人員が不足しており、募集するも応募がない状況 (プラスチック製造業)
- ・ホタテの漁獲量・漁獲高は共に良く、売値も良いため、ホタテを扱っている加工業は景気が良い状況  
ただし、今後も高値で売れ続けるかは不明であるため、不安材料となっている。 (水産加工業)

## ■D・I

	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2021 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 75.3	▲ 66.6	▲ 51.7	▲ 62.1	▲ 33.9	▲ 36.2	▲ 23.6	▲ 47.3	▲ 36.2	▲ 38.2
売上高	▲ 82.5	▲ 71.9	▲ 67.3	▲ 61.0	▲ 13.3	▲ 34.4	▲ 26.3	▲ 35.6	▲ 22.4	▲ 18.2
採算	▲ 45.5	▲ 33.9	▲ 31.6	▲ 33.9	▲ 20.4	▲ 34.5	▲ 25.0	▲ 46.6	▲ 25.0	-
仕入単価	7.2	19.6	17.6	22.4	55.0	62.3	80.3	89.7	94.7	89.1
販売単価	▲ 22.8	▲ 14.0	▲ 3.4	▲ 8.5	▲ 5.0	0.0	3.6	15.2	22.9	29.1
資金繰り	▲ 52.6	▲ 35.8	▲ 29.8	▲ 37.3	▲ 25.4	▲ 30.5	▲ 21.4	▲ 36.3	▲ 29.8	▲ 25.0
従業員	10.7	1.8	▲ 1.8	1.7	▲ 12.3	0.0	▲ 3.7	3.5	▲ 10.9	-
新規設備投資	17.0	23.1	27.8	13.2	19.3	22.4	29.1	17.5	19.0	19.6

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。  
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



# 建設業

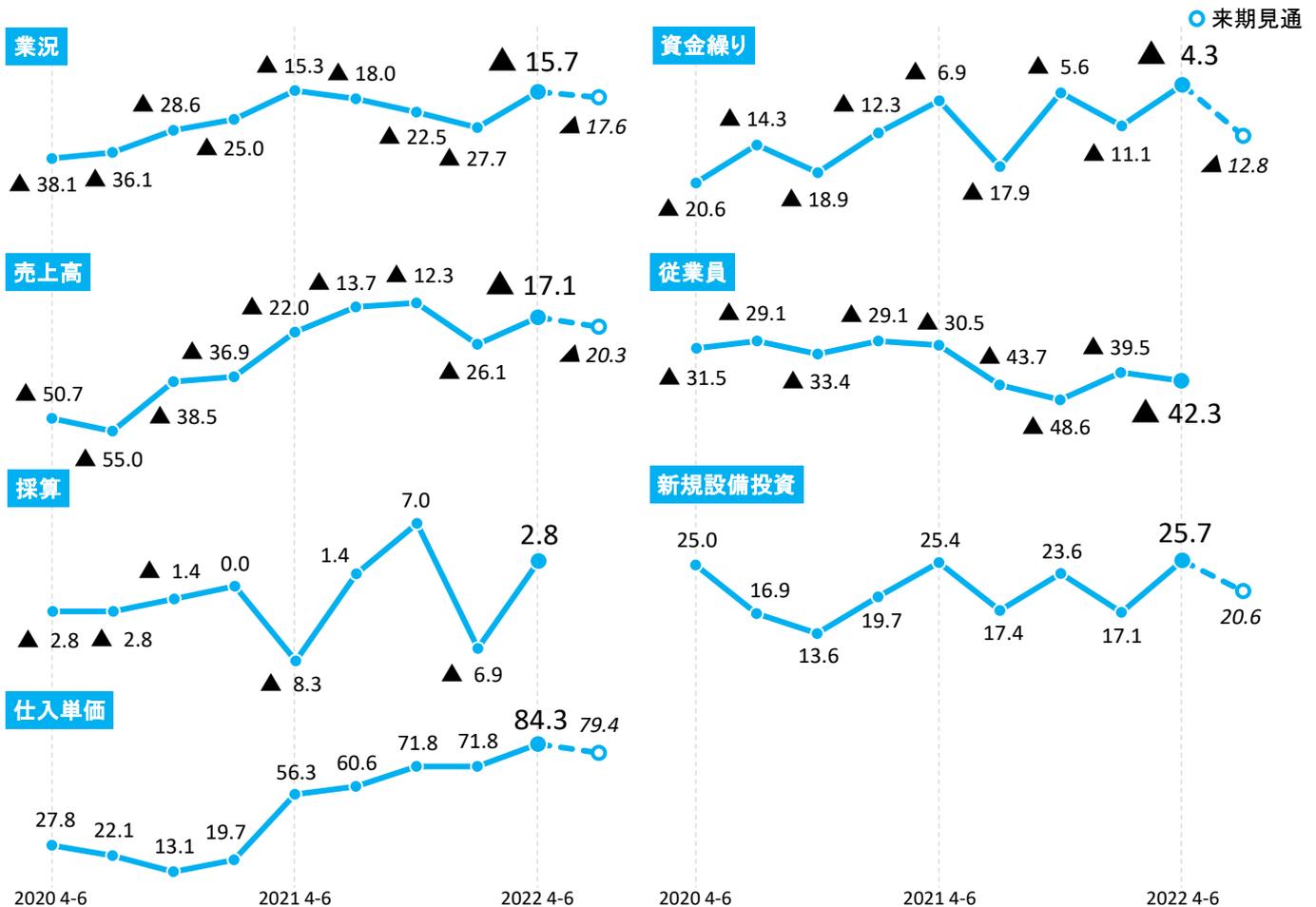
## ■主なコメント

- ・来期は物価上昇による需要の落ち込みや転嫁しきれない部分が増えてくると予想  
また、人材不足による販売機会損失も増加の見通し。 (一般土木工事業)
- ・人材確保のためにベースアップをしようにも、先行きが不透明なためできない状況 (土木建設業)
- ・円安、資源価格高騰など、景気の先行きが不透明であり、大型設備投資は控えている。  
ただし、人材確保のための雇用環境の充実に関しては、日々見直しを行っている。 (設備工事業)

## ■D・I

	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 38.1	▲ 36.1	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 15.3	▲ 18.0	▲ 22.5	▲ 27.7	▲ 15.7	▲ 17.6
売上高	▲ 50.7	▲ 55.0	▲ 38.5	▲ 36.9	▲ 22.0	▲ 13.7	▲ 12.3	▲ 26.1	▲ 17.1	▲ 20.3
採算	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 1.4	0.0	▲ 8.3	1.4	7.0	▲ 6.9	2.8	-
仕入単価	27.8	22.1	13.1	19.7	56.3	60.6	71.8	71.8	84.3	79.4
販売単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 20.6	▲ 14.3	▲ 18.9	▲ 12.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 4.3	▲ 12.8
従業員	▲ 31.5	▲ 29.1	▲ 33.4	▲ 29.1	▲ 30.5	▲ 43.7	▲ 48.6	▲ 39.5	▲ 42.3	-
新規設備投資	25.0	16.9	13.6	19.7	25.4	17.4	23.6	17.1	25.7	20.6

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。  
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



# 卸売業

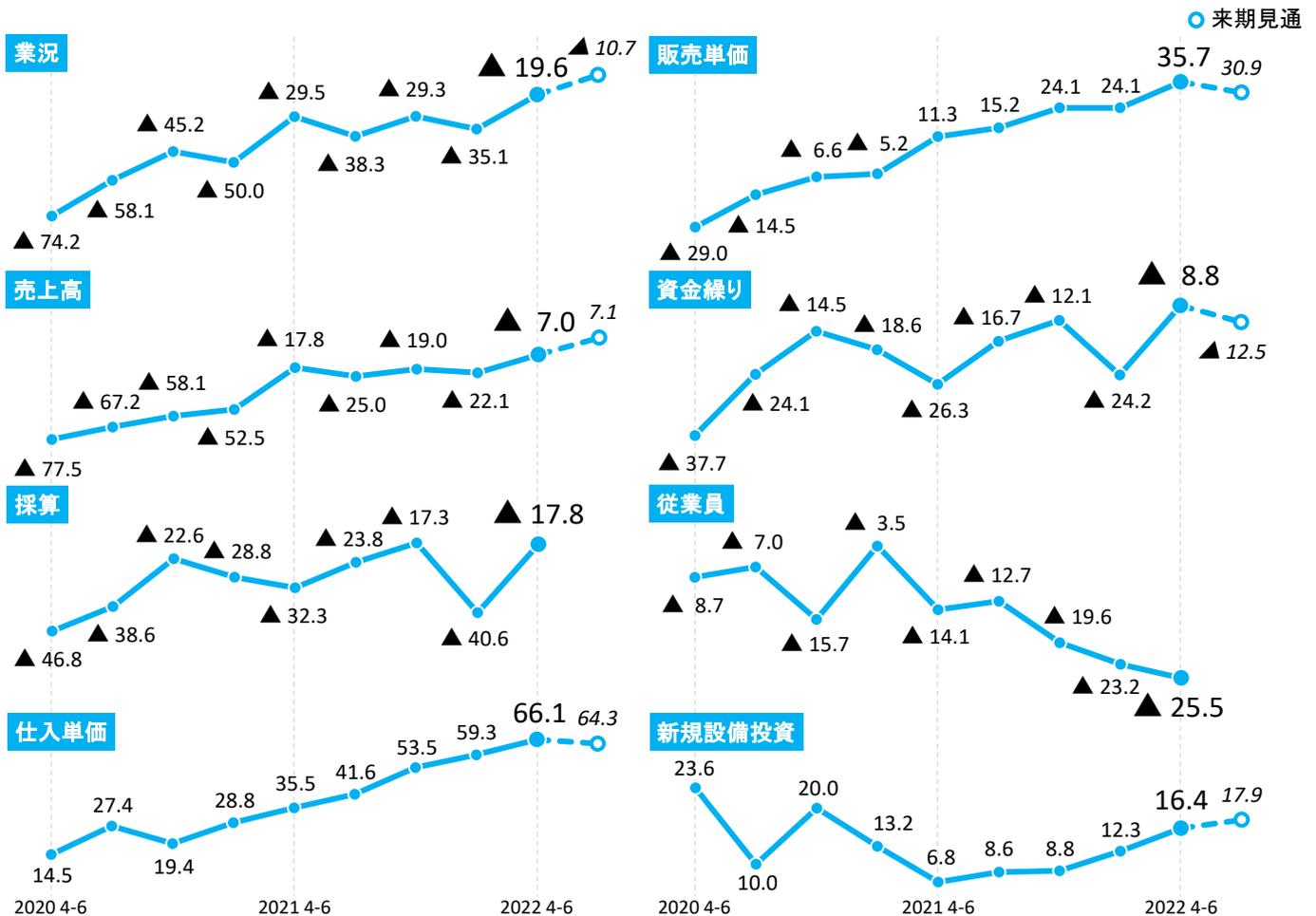
## ■主なコメント

- ・ロシアによるウクライナ侵攻の影響で輸入水産物の入手が難しくなっている。  
また、電力料金の値上げが徐々に経営を圧迫している。 (冷蔵倉庫業)
- ・原油価格の高止まりに加え、急激な円安進行もあり、仕入先からの値上げ要請が続いている。商品によっては2次、3次値上げの話も出ており、収益確保に向け販売先への値上げ交渉に迫られている状況 (包装資材等卸売業)
- ・円安、資源価格高騰による仕入価格の上昇が続いており、今後はスムーズに価格転嫁を進めることができるかが課題 (車輛用電装部品卸売業)

## ■D・I

	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2021 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 74.2	▲ 58.1	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 29.5	▲ 38.3	▲ 29.3	▲ 35.1	▲ 19.6	▲ 10.7
売上高	▲ 77.5	▲ 67.2	▲ 58.1	▲ 52.5	▲ 17.8	▲ 25.0	▲ 19.0	▲ 22.1	▲ 7.0	7.1
採算	▲ 46.8	▲ 38.6	▲ 22.6	▲ 28.8	▲ 32.3	▲ 23.8	▲ 17.3	▲ 40.6	▲ 17.8	-
仕入単価	14.5	27.4	19.4	28.8	35.5	41.6	53.5	59.3	66.1	64.3
販売単価	▲ 29.0	▲ 14.5	▲ 6.6	▲ 5.2	11.3	15.2	24.1	24.1	35.7	30.9
資金繰り	▲ 37.7	▲ 24.1	▲ 14.5	▲ 18.6	▲ 26.3	▲ 16.7	▲ 12.1	▲ 24.2	▲ 8.8	▲ 12.5
従業員	▲ 8.7	▲ 7.0	▲ 15.7	▲ 3.5	▲ 14.1	▲ 12.7	▲ 19.6	▲ 23.2	▲ 25.5	-
新規設備投資	23.6	10.0	20.0	13.2	6.8	8.6	8.8	12.3	16.4	17.9

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。  
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



# 小売業

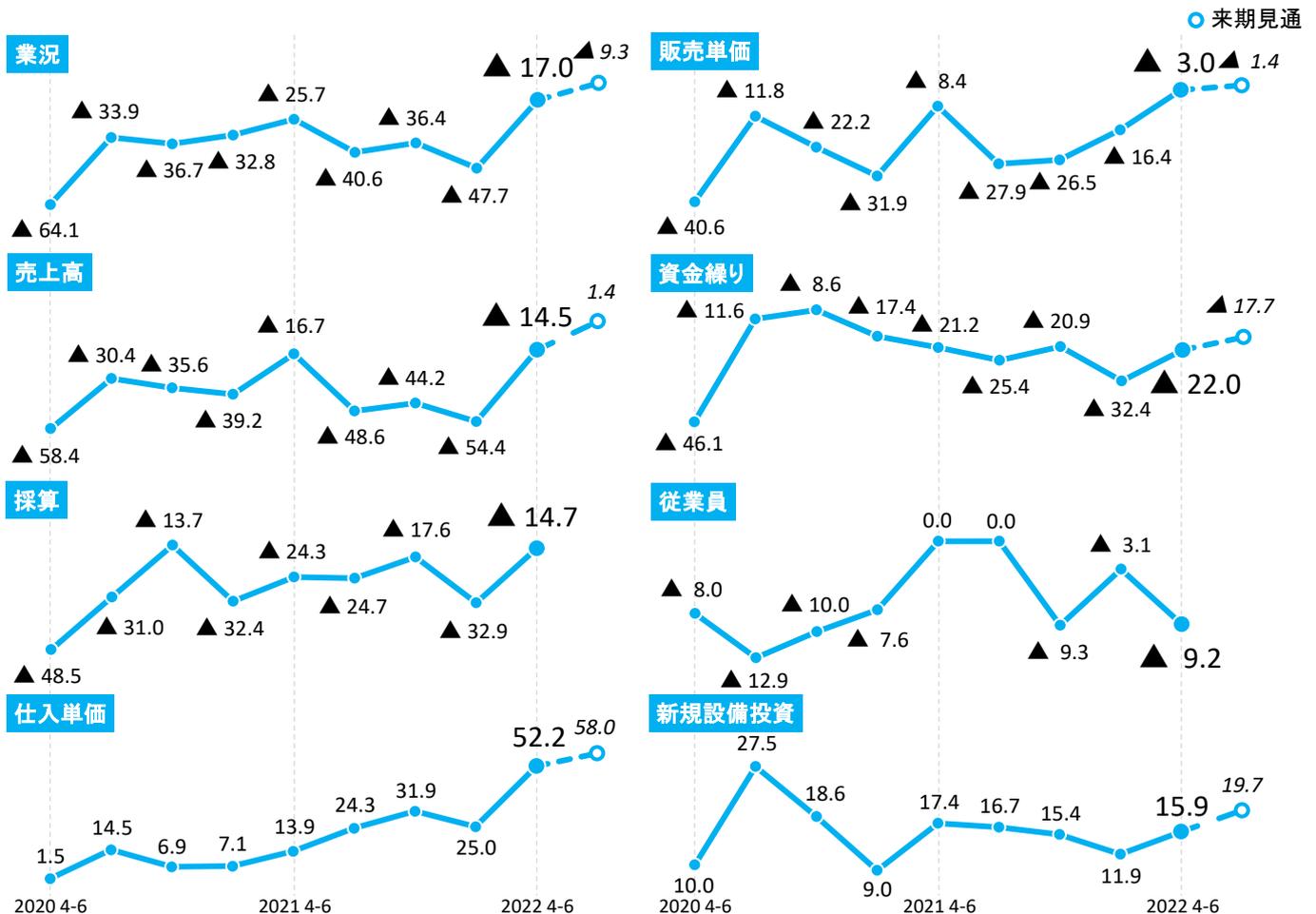
## ■主なコメント

- ・昨年よりも売上が増加傾向だが、原材料、光熱費等の価格上昇が大きく、未だ価格転嫁が進んでいない状況  
早期に商品価格の見直しを実施したいが、時期と上げ幅が課題となっている。 (食料品小売業)
- ・原油価格高騰により、著しく仕入価格が上昇しているが、上昇分を転嫁するのが難しい。  
また、販売価格が高いため、販売数量が減少傾向にある。 (燃料小売業)
- ・商品の主要生産地である中国のロックダウンにより、入荷状況は著しく悪化  
海外商品の値上げ幅が大きく、価格帯が変わったため、販売が停滞している。 (自転車・自動二輪小売業)

## ■D・I

	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 64.1	▲ 33.9	▲ 36.7	▲ 32.8	▲ 25.7	▲ 40.6	▲ 36.4	▲ 47.7	▲ 17.0	▲ 9.3
売上高	▲ 58.4	▲ 30.4	▲ 35.6	▲ 39.2	▲ 16.7	▲ 48.6	▲ 44.2	▲ 54.4	▲ 14.5	▲ 1.4
採算	▲ 48.5	▲ 31.0	▲ 13.7	▲ 32.4	▲ 24.3	▲ 24.7	▲ 17.6	▲ 32.9	▲ 14.7	-
仕入単価	1.5	14.5	6.9	7.1	13.9	24.3	31.9	25.0	52.2	58.0
販売単価	▲ 40.6	▲ 11.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 8.4	▲ 27.9	▲ 26.5	▲ 16.4	▲ 3.0	▲ 1.4
資金繰り	▲ 46.1	▲ 11.6	▲ 8.6	▲ 17.4	▲ 21.2	▲ 25.4	▲ 20.9	▲ 32.4	▲ 22.0	▲ 17.7
従業員	▲ 8.0	▲ 12.9	▲ 10.0	▲ 7.6	0.0	0.0	▲ 9.3	▲ 3.1	▲ 9.2	-
新規設備投資	10.0	27.5	18.6	9.0	17.4	16.7	15.4	11.9	15.9	19.7

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。  
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



# サービス業

## ■主なコメント

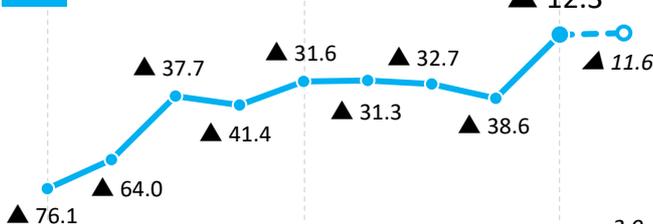
- ・イベントの中止により各種ポスターや看板の発注が全てなくなり、加えて飲食業界も客足が途絶えたため、売上傳票などの発注も激減している。 (印刷業)
- ・食材費が高騰しており、メニューの価格に転嫁したいがどれくらいの幅で上げるべきか判断が難しい。 (飲食業)
- ・コロナの関係で、1人1テーブル使うのが普通になってきているため、テーブルクロスも余計に使うようになっている。また、クリーニング代の高騰により、クロスのクリーニング代が倍になっており、収益を圧迫している。 (宿泊業)

## ■D・I

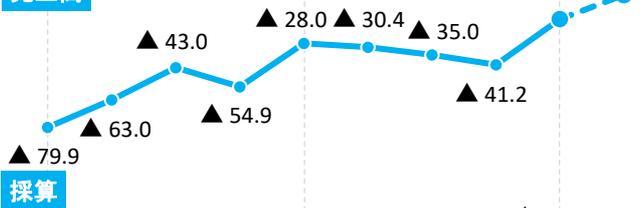
	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9(見通)
業況	▲ 76.1	▲ 64.0	▲ 37.7	▲ 41.4	▲ 31.6	▲ 31.3	▲ 32.7	▲ 38.6	▲ 12.3	▲ 11.6
売上高	▲ 79.9	▲ 63.0	▲ 43.0	▲ 54.9	▲ 28.0	▲ 30.4	▲ 35.0	▲ 41.2	▲ 13.0	2.0
採算	▲ 61.8	▲ 34.4	▲ 24.8	▲ 32.3	▲ 28.3	▲ 22.5	▲ 18.4	▲ 30.2	▲ 14.9	-
仕入単価	2.1	18.2	16.3	13.2	17.7	31.7	45.3	50.5	53.1	47.4
販売単価	▲ 39.6	▲ 32.4	▲ 26.6	▲ 26.0	▲ 10.3	▲ 12.0	▲ 18.4	▲ 13.7	1.0	3.9
資金繰り	▲ 53.7	▲ 37.8	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 31.2	▲ 21.2	▲ 16.2	▲ 25.3	▲ 12.2	▲ 14.3
従業員	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.1	▲ 10.2	▲ 16.3	▲ 14.8	▲ 24.5	▲ 11.5	▲ 25.9	-
新規設備投資	16.9	14.3	22.9	18.4	17.7	20.2	23.2	14.7	19.8	13.0

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。  
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。

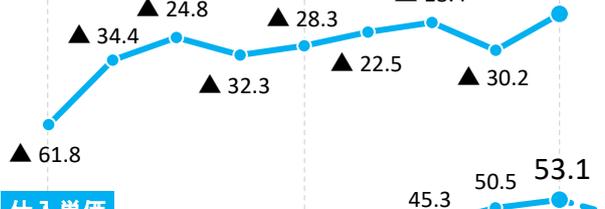
### 業況



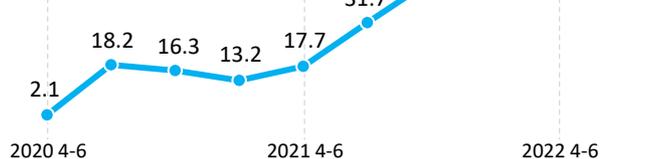
### 売上高



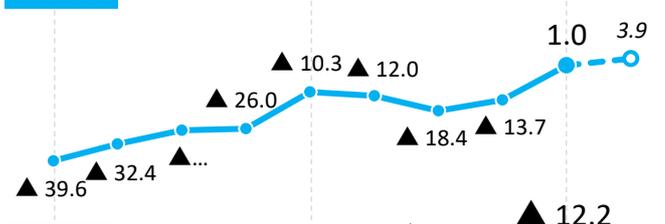
### 採算



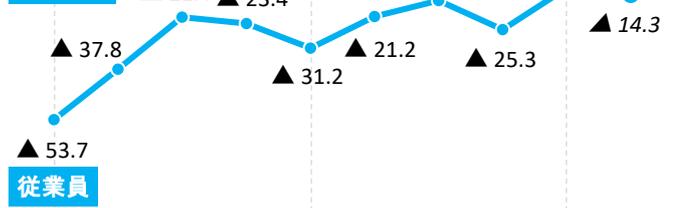
### 仕入単価



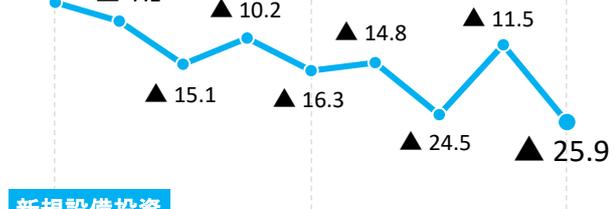
### 販売単価



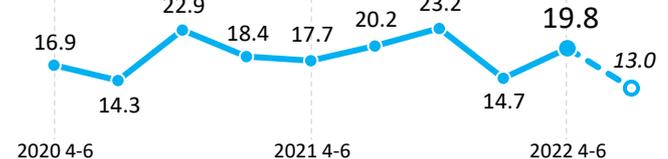
### 資金繰り



### 従業員



### 新規設備投資



○ 来期見通

## VIII. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2022年6月  
(2) 調査対象期間 2022年4～6月期実績及び2022年7～9月期見通し

### 2. 調査対象

#### (1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、  
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、  
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、  
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

#### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。  
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

### 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)  
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

### 4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	57	38	61	71	270
中規模	15	15	19	8	31	88
合計	58	72	57	69	102	358
構成比	16.2%	20.1%	15.9%	19.3%	28.5%	100.0%

#### 〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 44社、建設業 41社、卸売業 33社、  
小売業 39社、サービス業 59社 合計 216社

■過去の調査結果はコチラ →



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

#### D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。